

東日本大震災被災地支援

東北の思い・・・山科に届け! 東北の特産物を超安価販売

京都醍醐ライオンズクラブでは、東日本大震災以降、義援金を送るなど被災地の支援の活動をしてきました。

しかし、被災地の生産活動は回復してきているものの、品物が売

れずに困っており、少しでも多くの方に買っていただければとの話を現地の方から聞きました。

そこで、本クラブで検討した結果、東北6県特産の食材や飲み物を定価で購入し、**超安価**で販売することとし、10月8日・9日の2日間、本クラブの有志で仙台を訪

れ、品物を購入してきました。

品物は、11月18日(金)・19日(土)に開催される「京都・やましの観光ウィーク」において、勸修寺境内(拝観料不要の場所です)で**超安価**で販売し、売上金については奉仕事業に使用する予定です。

山科区民の皆様、この機会に勸修寺にお越しいただき、東北の品物の購入を通じ、被災地の支援に

ご参加ください。



京都醍醐ライオンズクラブ
CN35周年記念実行副委員長
佐竹不二郎

「からだにe-COとしよ」健康レシピ

半年ぶりの健康レシピコーナーです。区民の皆様にご簡単で、体に良く健康に役立つ料理を清水焼団地の「きよまる」と一緒に、ご紹介します。



本日の食材の主演はこれからの旬の「セリ」である。春の七草の一つでもあるぞ。

きよまるからのひとこと

- セリについて (旬: 11月~3月)
セリが持つ栄養成分にはベータカロチン、鉄分、カリウム、カルシウムなどが豊富に含まれておるそうじゃ。
- 健康効果
貧血・冷え性の改善、夜盲症予防、利尿作用があるそうじゃよ。



セリの胡麻和え

【材料(分量4人分)】

- ・じゃが芋 小3コ
- ・セリ 1束
- 和え調味料
- ・白すりごま 大さじ3
- ・マヨネーズ 大さじ1½
- ・酢 大さじ1
- ・薄口しょうゆ 小さじ1
- ・砂糖 小さじ¼
- ・塩 小さじ½

【作り方】

- ①じゃが芋は皮をむき、極細線切りにして、水にさらし、熱湯でさっと茹でる。
 - ②セリは塩茹でし、水気を絞って4~5cmの長さに切る。
 - ③和え調味料を合わせ①と②をあえる。
- (レシピ: 区保健センター栄養士)

第8回 国際アビリンピック 銅メダル獲得の快挙

9月25日から30日まで、韓国ソウル市で開催された第8回国際アビリンピックに京都府から初めての代表として、山科区御陵在住の栗崎高行さんが出場され、ホームページ作成の競技で、見事に、銅メダルを獲得されました。



栗崎さんは、21歳のときに事故で首の骨を折り手足が不自由にな

りましたが、独学でプログラミングを学び、左手の装具に挟んだ鉛筆一本でパソコンを操作し、この度の栄誉を勝ち取られました。

海外で、多くが両手の使える競技者、英語による出題などの厳しい条件でのメダル獲得はまさに快挙といえるでしょう。栗崎さんの今後の活躍に期待します。

●問合せ先/区まちづくり推進課 (☎592-3088)

<国際アビリンピック> 障害がある人が職業技能などを競う国際大会。1981年に第1回目が東京で開催され、ほぼ4年ごとに開催。アビリティ(能力)とオリンピックを合わせた造語。

おこしやす “やましの”協議会ミス小野小町とJR大阪駅で山科をPR!



10月4日、JR大阪駅において、おこしやす“やましの”協議会キャラバン隊が、秋の山科への観光を呼び掛けるため、PR活動を行いました。会員15名と、振り袖姿で登場した随心院のミス小野小町が山科の観光マップやイベントのチラシを



はじめ、山科特産品の飴などを配布し、行き交う方々の注目を集めていました。
●問合せ先/区総務課企画広報担当 (☎592-3066)



区役所ロビーでパネル展示11月25日(金)まで

パープルリボン (「女性に対する暴力をなくす運動」のシンボル)

ドメスティック・バイオレンス (DV) など女性に対する暴力について考えるパネルを展示しています。

●問合せ先/市男女共同参画推進課 (☎222-3091)

第6回 区民活動きずなリレー

～山科を花と緑でいっぱい!～
花と緑のまちづくりサポーター活躍中!

区民と行政が一緒に作った「第2期山科区基本計画」が今年4月にスタート!このコーナーでは計画に関する区民活動をご紹介します。

今回は計画の5つの基本施策のうち「環境を守り継ぐ」に関連して、山科区フラワーロード推進事業に参加されている「花と緑のまちづくりサポーター」の方々の活動をご紹介します。

この活動は、山科区を花いっぱい潤いのあるまちにするために区民、事業者、行政が協働して花

の植栽を行う取組であり、区役所玄関前や東部文化会館、JR山科駅前などで四季折々の花を植えています。8月30日に葉ボタンの植え替え作業取材しました。



●「すこやかファームおとわ」での作業

まだまだ強烈な日差しの中、葉ボタンを育てている「農業体験すこやかファーム」に集まったのは約25名のサポーターさんです。種まきから1箇月間すくすく成長してきた苗をポットに植え替えます。土を

混ぜる、ポットに土を入れる、苗を植え替えるなど手際よい分担で作業は進みます。とはいえ苗は約3000株。途中、水分補給をしながら和気あいあいと夕方まで作業は続きました。今後JR山科駅前での植栽や区民まつり(11/23)で配布する予定です。

参加者の石田さんは6年前に活動が始まった時から参加されています。みんなで作業するのが楽しく、中間の輪が広がり、社会勉強になるとのこと。また、ご自身のお店が所属する商店街でも、ここで育てた花をプランターに植え、商店街が明るくなったそうです。

ポットに遮光ネットをかける作業をされていた村上さんは、園芸に

詳しいリーダー役です。当初20人ほどの参加者が今では60人を超え、育てた花も清水焼団地や商店街などに広がり、活動の充実を実感されているそうです。

他にも、園芸に出会って生きがいを感じているという方や、今年から参加して花の育て方を一から教わっているという方など、皆さん本当に楽しそうです。

サポーターさんの笑顔とともに花と緑がまちいっぱい広がっていく、今後の山科が楽しみです。
●問合せ先/区総務課企画広報担当 (☎592-3066)